

開催日及び場所	平成29年6月7日(水) 東北財務局7階会議室	
委員	委員長 青木雅明 (東北大学大学院経済学研究科会計大学院教授) 委員 高木龍一郎 (東北学院大学副学長) 委員 成田由加里 (公認会計士)	
審議対象期間	平成29年1月1日(日)～平成29年3月31日(金)	
抽出案件	4件	(備考)
競争入札(公共工事)	2件	契約件名: (H28) 仙台郡山住宅ほか1住宅外壁改修ほか工事設計業務 契約相手方: 株式会社小野建築研究所(法人番号 5410001000820) 契約金額: 3,337,200円 契約締結日: 平成29年1月6日 担当部局: 東北財務局
		契約件名: 宮古合同庁舎非常用自家発電装置の制御盤等交換工事 契約相手方: 久光電気株式会社(法人番号 5370401000565) 契約金額: 4,860,000円 契約締結日: 平成29年1月6日 担当部局: 仙台国税局
随意契約(公共工事)	一件	
競争入札(物品役務等)	2件	契約件名: 国家公務員ICカード購入契約 契約相手方: 株式会社NTTデータ・アイ(法人番号 2011101056358) 契約金額: 3,561,624円 契約締結日: 平成28年11月22日 担当部局: 東北財務局
		契約件名: 参考図書の購入 契約相手方: 株式会社宝文堂ブックサービス(法人番号 6370001015772) 契約金額: 2,088,281円 契約締結日: 平成29年2月6日 担当部局: 仙台国税局
随意契約(物品役務等)	一件	
応札(応募)業者数1者関連	1件	※ 競争入札(物品役務等)国家公務員ICカード購入契約に同じ (前回審議対象期間(平成28年10月1日～平成28年12月31日)から抽出)
委員からの意見・質問、 それに対する回答等	意見・質問	
	次葉のとおり	回答
委員会による意見の 具申又は勧告の内容	なし	

意見・質問	回答
<p>【事案1】 契約件名：(H28) 仙台郡山住宅ほか1住宅外壁 改修ほか工事設計業務 契約相手方：株式会社小野建築研究所 (法人番号 5410001000820) 契約金額：3,337,200円 契約締結日：平成29年1月6日 担当部局：東北財務局</p> <p>落札率が低い要因は何か。</p> <p>【事案2】 契約件名：国家公務員ICカード購入契約 契約相手方：株式会社NTTデータ・アイ (法人番号 2011101056358) 契約金額：3,561,624円 契約締結日：平成28年11月22日 担当部局：東北財務局</p> <p>過去においても1者応札となっているが、対応できる業者は他にいないのか。</p> <p>ICカードを作成する業者が限られている場合でも、一般競争入札に付すこととした理由は何か。</p> <p>【事案3】 契約件名：宮古合同庁舎非常用自家発電装置の 制御盤等交換工事 契約相手方：久光電気株式会社 (法人番号 5370401000565) 契約金額：4,860,000円 契約締結日：平成29年1月6日 担当部局：仙台国税局</p> <p>参加業者が少ないというのは、何か経済背景等の要因があるのか。</p> <p>前回の入札から予定価格の見直しを行った理由は何か。</p>	<p>落札業者は、過去にも当局の設計業務を受注した実績があり、当局管理の宿舎建物についての知見があることが落札額に反映されたものと思われる。</p> <p>また、東北管内の設計業務においては、震災対応に係る業務量が落ち着いてきているとみられ、競争の結果が反映されたものと考えられる。</p> <p>当局が導入しているICカード発行管理システムに適合するICカードを納入できる業者は、限定されるのではないかと思われる。</p> <p>ICカードが物品である以上、納入できる業者が他にいないことを否定できないことから、原則に従って一般競争入札に付したものである。</p> <p>今回の業務は交換業務になるので、業者が利幅の少ない業務と判断し、入札への参加を見合わせたと思われる。</p> <p>自家発電装置との互換性により制御盤のメーカーが限定される等の要因を考慮し、予定価格の見直しを行い、再度公告を行った。</p>

意見・質問	回答
<p>【事案4】 契約件名：参考図書の購入 契約相手方：株式会社宝文堂ブックサービス （法人番号 6370001015772） 契約金額：2,088,281円 契約締結日：平成29年2月6日 担当部局：仙台国税局</p> <p>大手の小売業者等からは、より安価に調達はできないのか。</p> <p>毎年、同種、同数程度の冊子を購入するのか。</p> <p>【総評】 1 落札率が低い要因を分析し、その結果を予定価格の積算に反映させることを検討してほしい。</p> <p>2 ICカード発行管理システムと関連性のあるICカードは、システム更新のタイミングなどに合わせて、一括で調達することを検討してほしい。</p>	<p>調達数量、範囲にもよるが、値引きに関しては、地方の小売業者のほうが比較的裁量があるものと聞いている。</p> <p>年に3回、局内各課の要望を基に、使用頻度等による調整を図った上で一括購入している。</p>